

説明用PPT(最終案)

福生都市計画道路3・4・7号線 (富士見通り)

概 要 説 明 会

平成25年10月
福 生 市

次 第

- 開 会
- 挨拶
- 職員紹介
- 説 明
 - 1. 計画概要
 - 2. 今後のスケジュール
- 質疑応答
- 閉 会

1. 計画概要

- I-1 福生市としての取り組み
- I-2 都市計画道路3・4・7号線
(富士見通り) の計画概要
- I-3 測量について

1-1 福生市としての取り組み

福生市都市計画マスタープラン

- 福生市の都市計画に関する基本方針
(都市計画法第18条の2)

第4期総合計画を支える 分野別計画

- 土地利用の方針
- 都市施設の整備方針

平成24年3月改定
略称(都市マス)



1-1 福生市としての取り組み

福生市都市計画マスタープラン (福生市都市マス) の視点

都市計画マスタープラン

基本理念

- 1 市民・事業者・行政が力を合わせる
- 2 誰もが住み続けたくなるまち
- 3 駅を拠点・歩いて暮らせるまち

将来像

「にぎわいと潤いがあり、誰もが住み続けたくなる
歩いて暮らせるまち」



コンパクトシティ

1-1 福生市としての取り組み

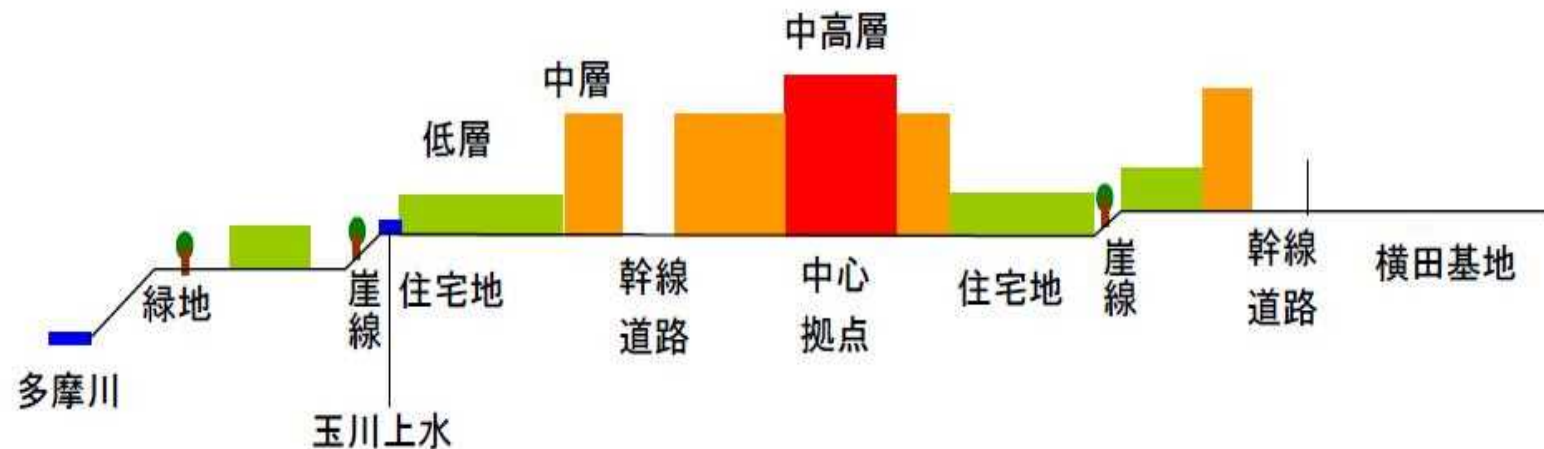
コンパクトシティ（福生市都市マス）

【福生市の特徴】

- ・狭い市街地に5つの駅
- ・過度に車に頼らない歩いて暮らせるまちづくりが可能



- ・駅を中心に商業・業務・文化・交流の機能の集積
- ・中心市街地の活性化・街なか居住の推進
- ・段階的な密度構成（周辺部は良好な住環境）



1-1 福生市としての取り組み

将来都市構造（福生市都市マス）

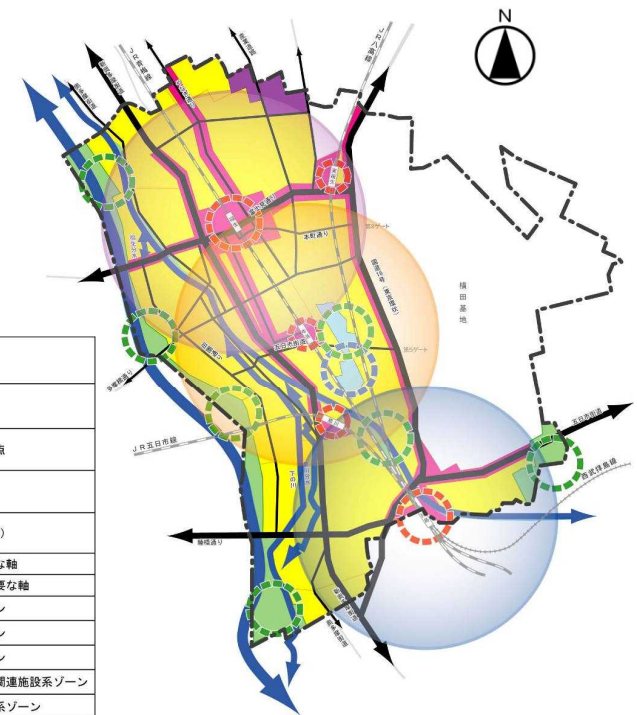
【コンパクトシティ】

- 3つの地区区分(北部・中部・南部)
- 福生駅、拝島駅→**中心拠点**
- 牛浜駅、熊川駅、東福生駅
→**生活拠点**

歩いて暮らせる都市構造

- 文化の森周辺→**文化交流拠点**
- 水と緑の主要な軸
- 交通の主要な軸
- 緑の拠点

	中心拠点
	生活拠点
	文化交流拠点
	緑の拠点
	駅勢圏 (1km)
	交通の主要な軸
	水と緑の主要な軸
	商業系ゾーン
	工業系ゾーン
	住居系ゾーン
	生活・文化関連施設系ゾーン
	公園・緑地系ゾーン



1-1 福生市としての取り組み

整備方針・地区別構想（福生市都市マス）

【分野別整備方針】

- 土地利用方針
- 道路・交通体系の形成方針
- 防災・防犯に配慮したまちの形成方針
- 景観形成方針
- 環境と調和したまちの形成方針

【地区別構想】

- 北部地区（福生駅） にぎわいのある歩いて楽しいまち
- 中部地区（牛浜駅） うるおいの感じられる文化あふれるまち
- 南部地区（拝島駅） 自然環境と調和した活気のあるまち

1-1 福生市としての取り組み

北部地区のまちづくりの課題 (福生市都市マス)

- 福生駅周辺の高度利用の促進
- 富士見通りの整備
- 産業道路の整備
- 歩行者・自転車利用の視点に立ったまちづくり
- 玉川上水における親水空間の整備
- 宿橋通りの景観整備(歩車共存道路)
- 米軍ハウスやアートを生かした国際色豊かな景観づくり

他

1-1 福生市としての取り組み

-----基本的な考え方-----

これまで

自動車の利便性を重視した
交通体系を整備

少子高齢化
若者の車保有離れ
地球温暖化・低炭素社会

これから

- 歩行者・自転車が安心して
通行できる空間の整備
- バリアフリー環境
- 公共交通網の充実

人と環境にやさしい交通ネットワーク
の形成を目指しています

1-1 福生市としての取り組み

-----個別の整備方針-----

- ア 歩行者や自転車が安全・快適に行き来できる道を整備する。
- イ 鉄道やバスなどの公共交通が便利なまちをつくる。
- ウ すべての人に優しい、福生デザインの移動しやすいまちをつくる。
- エ 市内の各地域へ移動しやすい地区幹線・生活道路の整備を行う。
- オ 渋滞のない、快適に移動できる主要幹線道路網の整備を行う。

1-1 福生市としての取り組み

----- 都計道3・4・7号線（富士見通り） -----

「みんなで外に出て
歩きたくなる道の実現」

川の手
|
街の手
|
丘の手
をつなぐ軸として

- ・ 道路拡幅
- ・ 電柱移設
- ・ 電線地中化

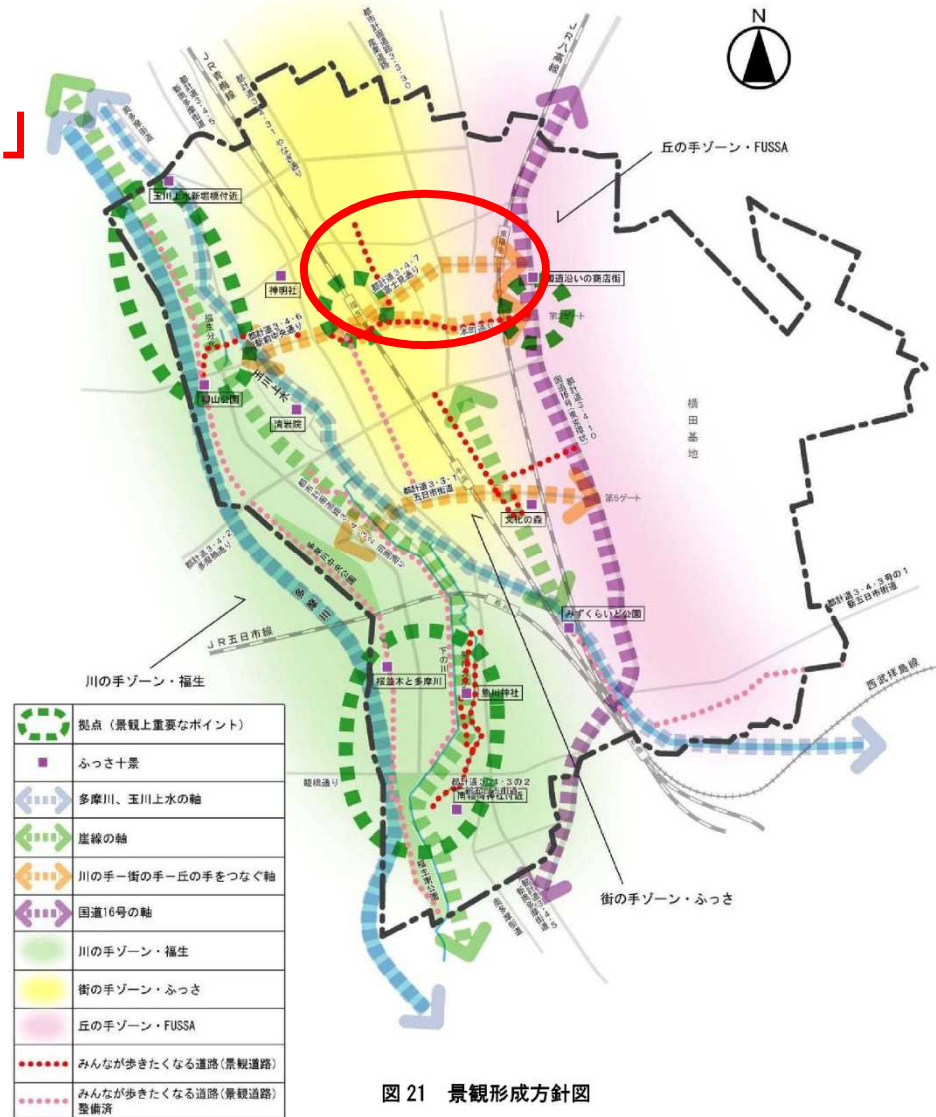


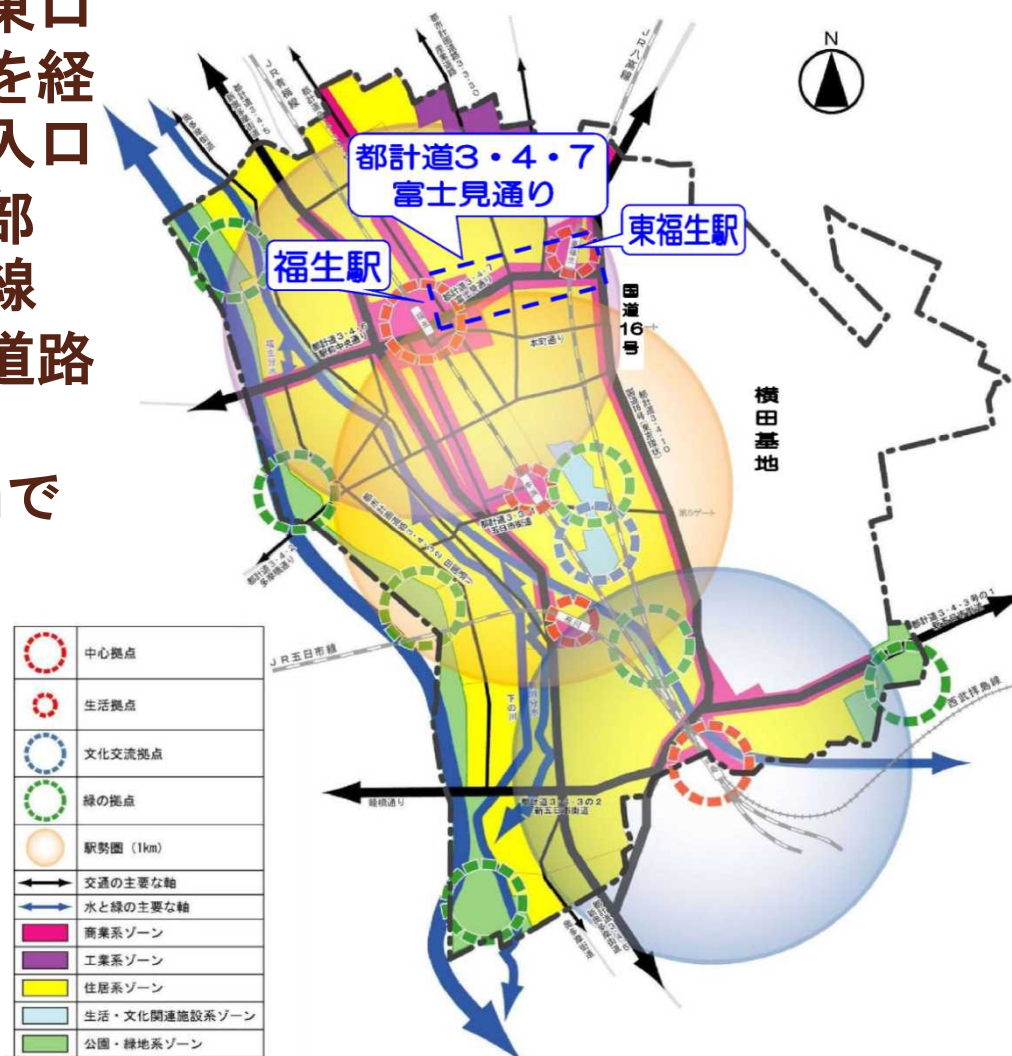
図 21 景観形成方針図

1-2 計画概要

都計道3・4・7号線は、
通称：富士見通りであり、福
生市福生において福生駅東口
交差点から東福生交差点を経
由し、国道16号東福生駅入口
交差点に至る、本市中心部
（福生駅前）と国道16号線
（横田基地）を結ぶ幹線道路
です。

標準幅員は16.0～20.5mで
全870mであり、これから
事業を実施していく計画
です。

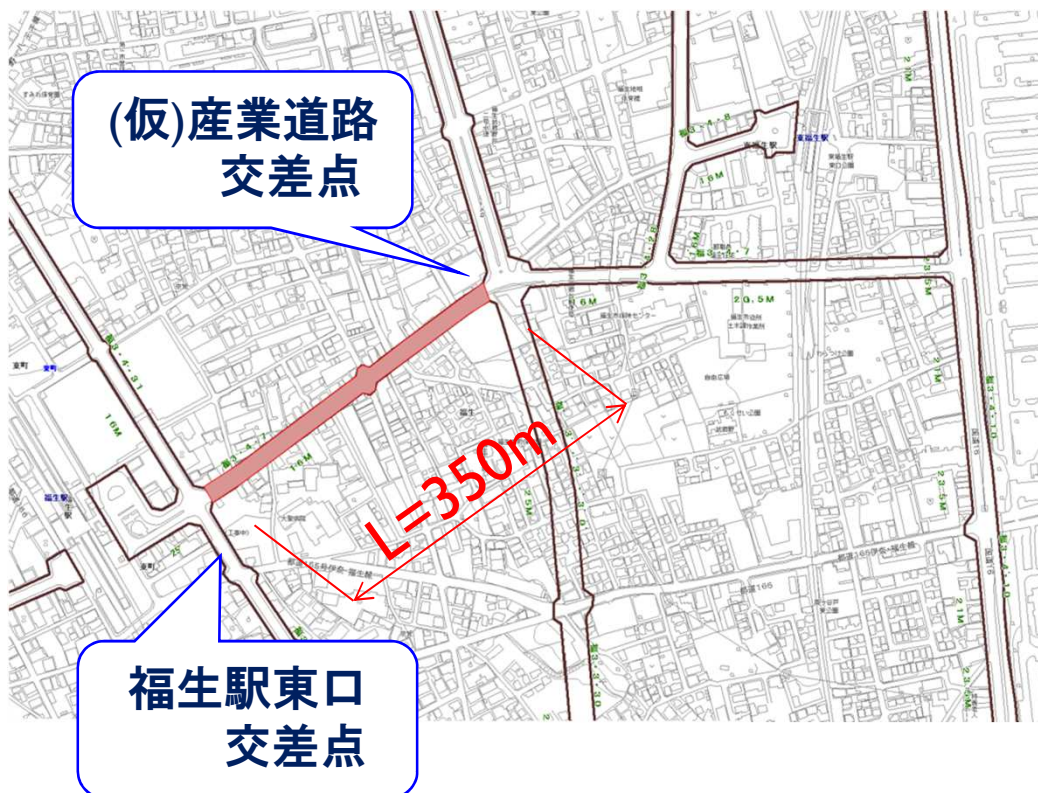
■位置図



1-2 計画概要

都計道3・4・7号線のうち、**福生駅東口交差点～産業道路間の約350m**を**先行整備区間**として計画していきます。

■案内図



■路線概要

- 都市計画決定
昭和36年10月5日
- 今回計画延長
 $L=約350m$
- 都市計画標準幅員
 $W=16m$

1-2 計画概要

■まちの状況



産業道路側は、
歩道はあるが狭い。

福生駅側は、
・幅員が狭い
・歩道がない

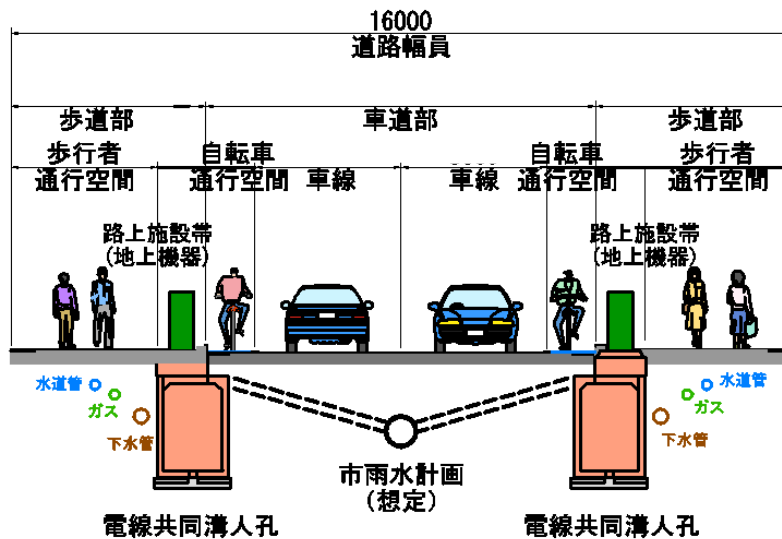


1-2 計画概要

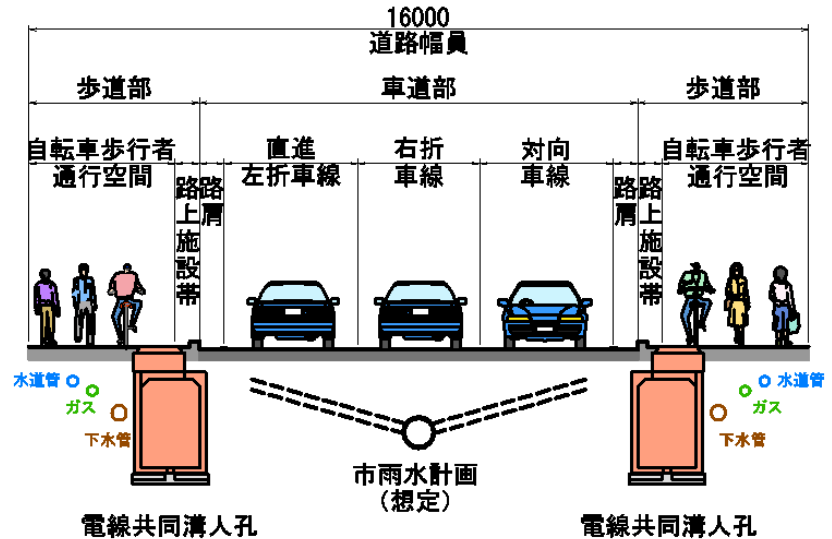
■ 計画標準幅員構成図（案）

- ・ 歩道を整備し、安全に通行できる幅員を確保します。
- ・ 電線を地中化し、景観が向上します。

一般部



交差点部

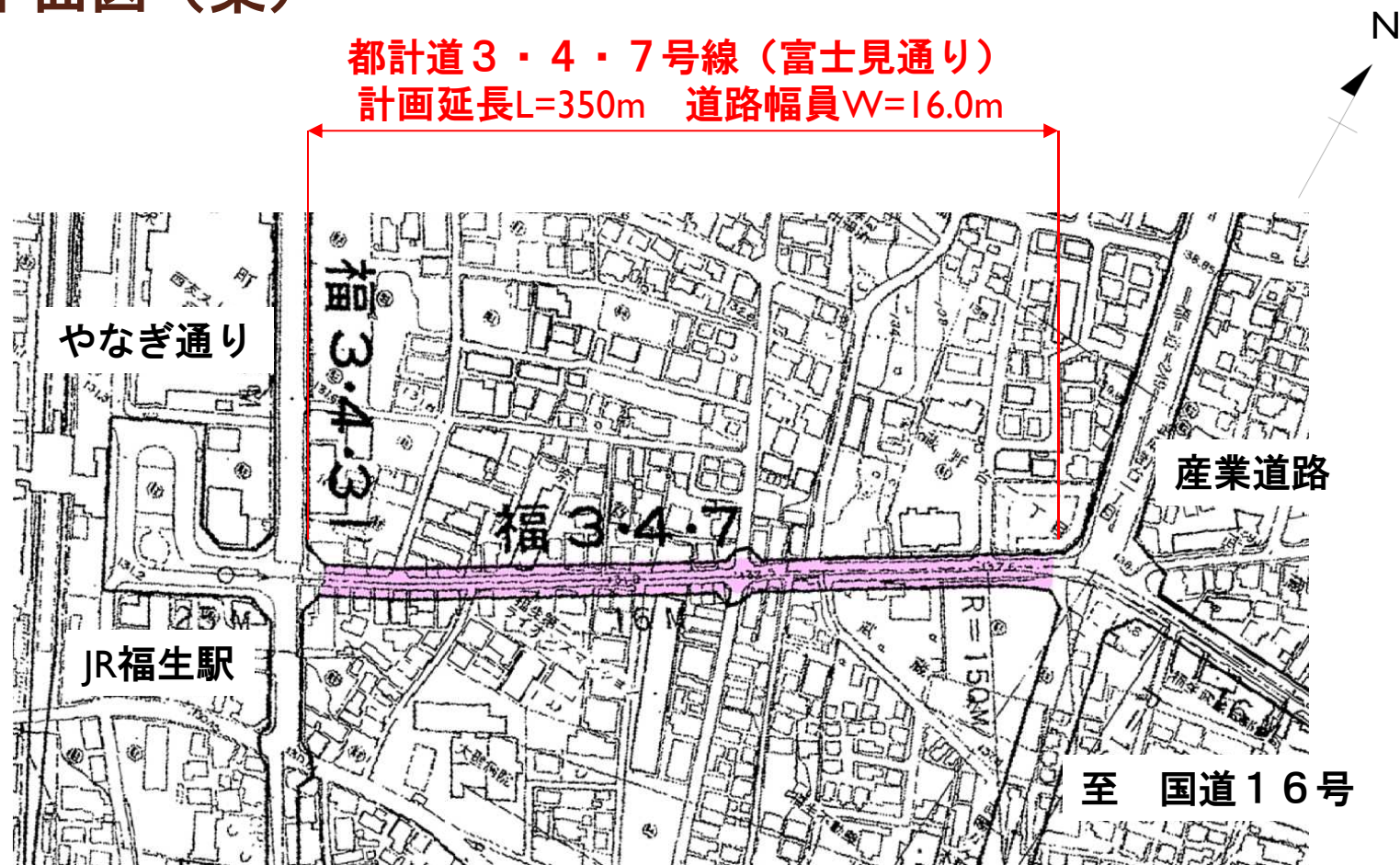


※ 電線共同溝の地上機器および人孔は、歩道内の連続設置はなく、概ね等間隔で、計画上必要な箇所に設置となります。

※ 幅員構成は今後の協議により調整してまいります。

1-2 計画概要

■平面図（案）



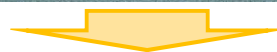
※ 詳細、交差点形状、接続道路計画等は今後調整してまいります。

1-2 計画概要

■整備イメージ（類似事例）



整備前

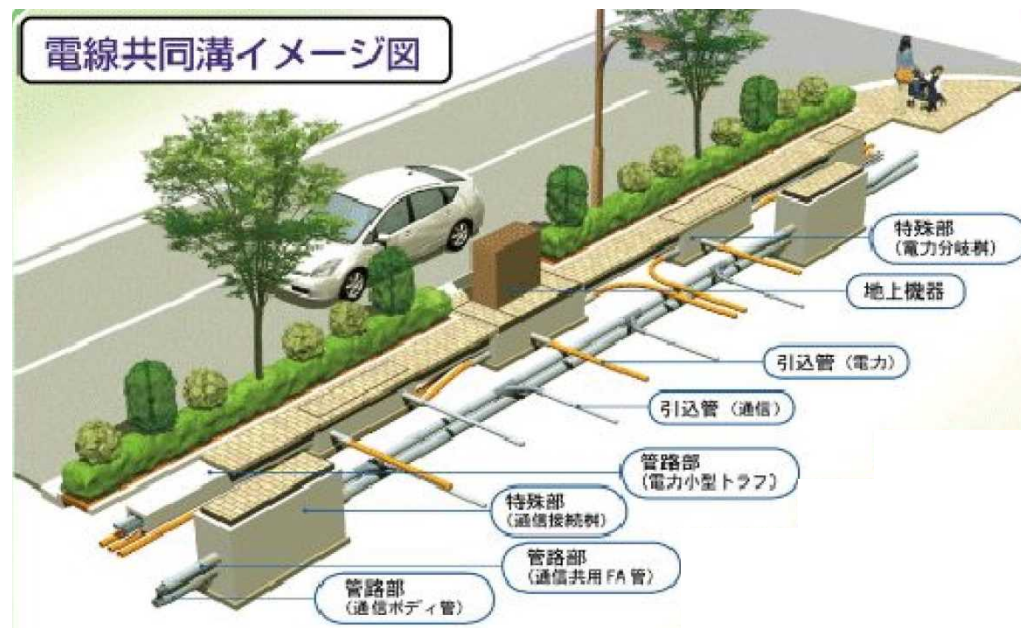


整備後

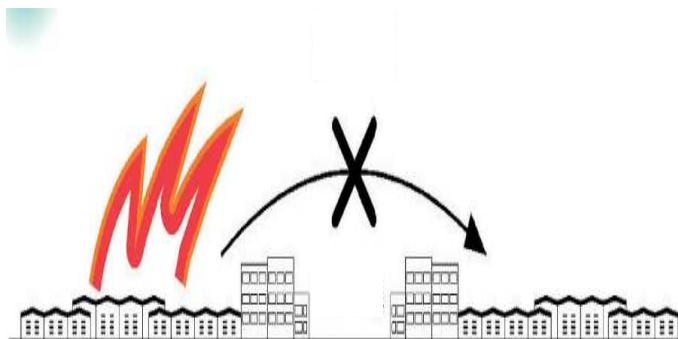
1-2 計画概要

■整備効果

①電線の地中化、歩道幅員の確保、街路樹の植栽等により、歩行者の安全確保と賑わいの創出を図ります。



②災害時の延焼を防ぎ、緊急避難路等の役割を果たします。



③消防・救急・介護用車両等の通行及び利用がスムーズになります。



1-3 測量について

- **現況測量の目的**

都市計画道路を整備するため、今後必要となる基礎資料を得るために実施します。

- **作業にあたって**

皆様の土地に立ち入りさせていただく場合は、腕章を着けた作業員が、**必ず事前にお断りをしてから**、作業に入らせて頂きます。建物の中には入りません。



福生市腕章

- **現地作業期間**

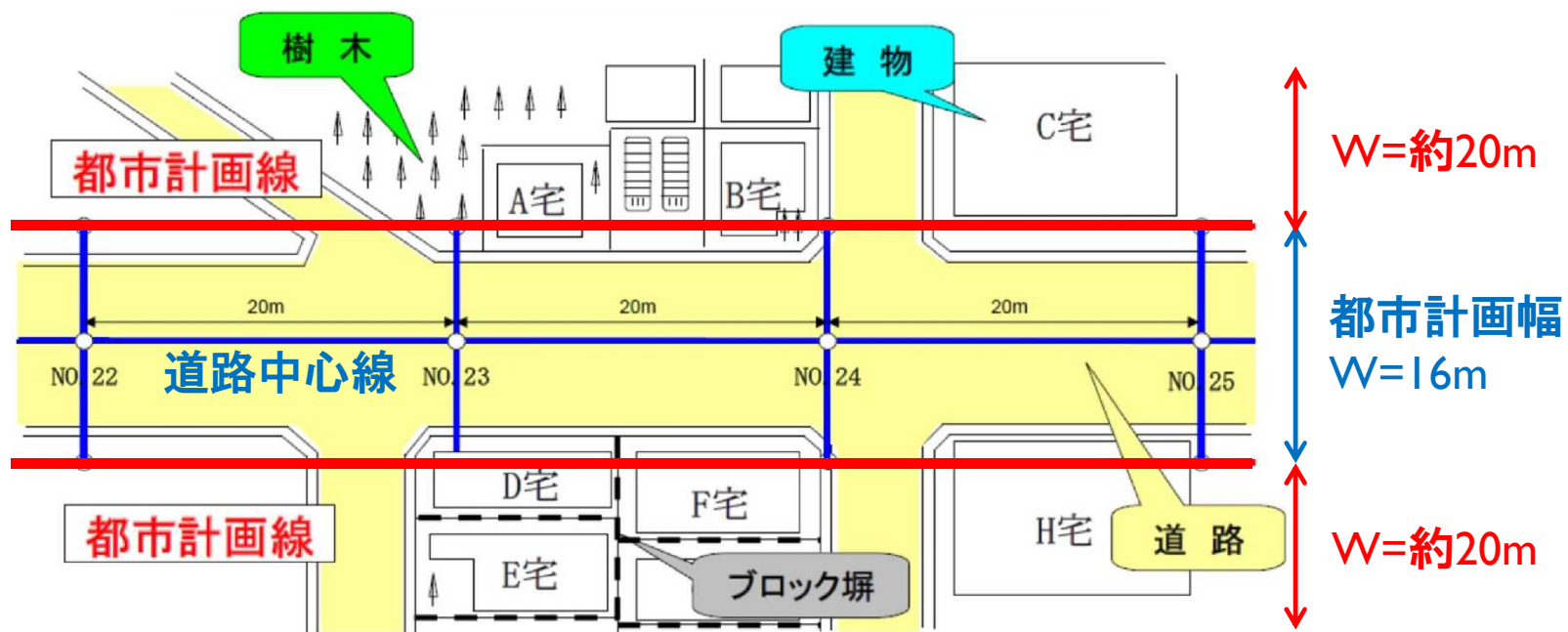
平成25年11月初旬～平成26年3月(予定)

- **測量作業機関**

国際測地株式会社

1-3 測量について

■作成する現況平面図イメージ



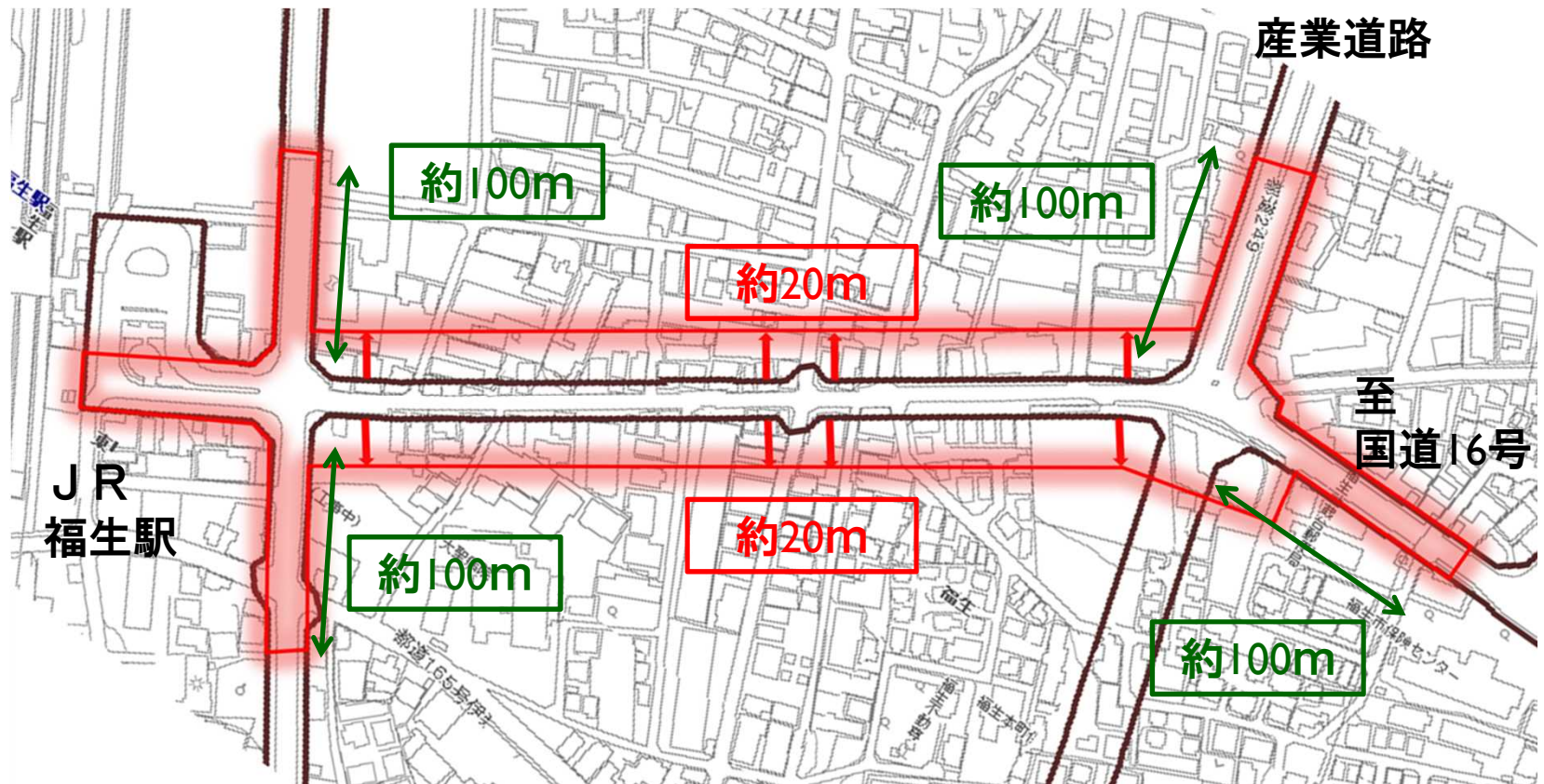
道路の位置や建物、ブロック塀、樹木の位置・形状なども表示し、現況の地形図を作成します。

※ 道路中心線の測点（図の○の位置）に目印となる鋏を打ちます。



1-3 測量について

■ 現況測量の範囲



都市計画線内と都市計画線端から両側約20mの範囲
ならびに両端交差点に接続する交差道路内約100mを測量します

2. 今後のスケジュールについて

本日

■全体のスケジュール

事業概要及び現況測量説明会

現況測量

用地測量説明会

用地測量

事業認可取得

用地説明会

物件調査

用地折衝・協議

契約・補償金の支払

物件移転

工事説明会

工事の実施

道路の完成

平成25年度

平成26～平成27年度

平成28年度～

問合せ先



福生市 都市建設部 まちづくり計画課

〒197-8501

東京都福生市本町5

電話：042-551-1511